

令和8年度第Ⅱ期常設展

令和8年8月22日㊥～12月27日㊦

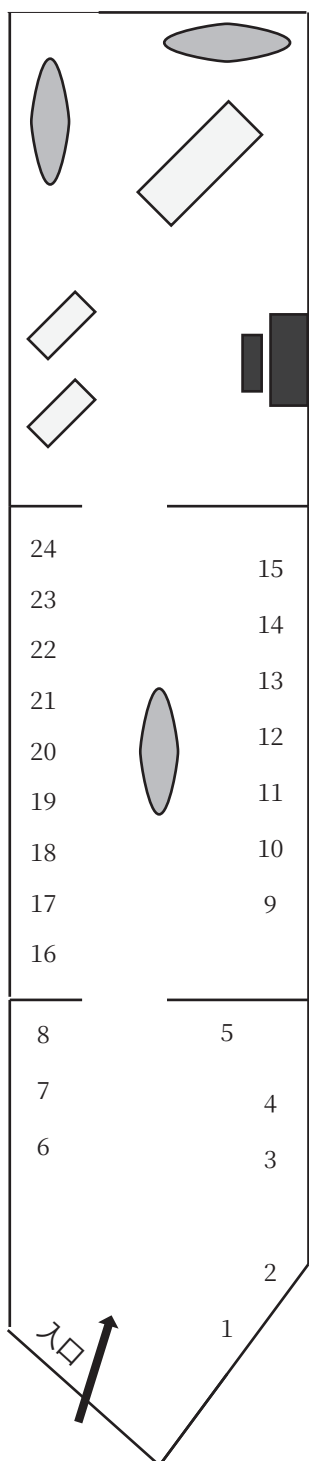
版画で辿る讃岐の名所

前期：8月22日㊥～10月25日㊦

後期：10月27日㊧～12月27日㊦

時代を超えて人々を惹きつけてやまない日本各地の「名所」。画題としても親しまれ、江戸時代の旅行ブームを機に、浮世絵では「名所絵」が盛んに描かれました。それらは現代でいう観光ガイドブックや土産物などの役割を担い、人々はまだ見ぬ土地に思いを馳せたり、あるいはかつての旅の思い出に浸ったりと、名所絵を見ることは人々の楽しみのひとつになりました。同じ場所を描いた作品であっても、描いた作家や描かれた時代によって、全く違う雰囲気を出します。

本展では、初代・歌川広重（1797-1858）や宮脇仲次郎（生没年不詳）、川瀬巴水（1883-1957）、辻一摩（1932-2024）らが讃岐の名所を描いたものを中心に、約40点の版画作品を前期・後期に分けて紹介します。名所絵の旅をぜひお楽しみください。



NO.	作者	タイトル	技法	制作年
1	辻 一摩	金毘羅絵図「重要文化財金丸座」	木版画	1983
2	辻 一摩	金毘羅絵図「高燈籠」	木版画	1983
3	辻 一摩	金毘羅絵図「浮橋とよばれた鞆橋」	木版画	1983
4	辻 一摩	金毘羅絵図「金刀比羅宮秋の大祭」	木版画	1983
5	辻 一摩	金毘羅絵図「五人百姓と櫻馬場」	木版画	1983
6	辻 一摩	金毘羅絵図「金刀比羅宮本社」	木版画	1983
7	辻 一摩	金毘羅絵図「無形文化財蹴鞠」	木版画	1983
8	辻 一摩	金毘羅絵図「奉納流し樽」	木版画	1983
9	月岡 芳年	源平矢嶋大合戦之図	木版画	1881
10	佐野 隆夫	瀬戸内の夕	シルクスクリーン・13/50	1983
11	奥村 厚一	淡古嶺の夏（屋島）	木版画	1952
12	川瀬 巴水	讃岐善通寺	木版画	1936
13	川瀬 巴水	讃岐海岸寺の浜	木版画	1934
14	川瀬 巴水	高松栗林公園	木版画	1937
15	川瀬 巴水	さぬき高松城	木版画	1922
16	歌川 広重（初代）	六十余州名所絵図「讃岐象頭山遠望」	木版画	1853
17	歌川 広重（初代）	諸国名所百景「讃岐久保谷のはま」	木版画	不明
18	歌川 広重（2代）	諸国六十八景「讃岐津田浦」	木版画	1862
19	宮脇 仲次郎	錦絵讃岐名所「津田松原」	石版画	1901
20	宮脇 仲次郎	錦絵讃岐名所「寒霞溪」	石版画	1901
21	宮脇 仲次郎	錦絵讃岐名所「屋島」	石版画	1901
22	宮脇 仲次郎	錦絵讃岐名所「栗林公園」	石版画	1901
23	宮脇 仲次郎	錦絵讃岐名所「滝宮天満宮」	石版画	1901
24	宮脇 仲次郎	錦絵讃岐名所「善通寺」	石版画	1901

※作品のキャプションにあるQRコードをスマートフォンで読み取ることで、地図上でのおよその位置を確認することができます。